

黒川連携の会 あゆみ



平成27年5月1日

会長 角田 浩(公立黒川病院 診療部長)

事務局 赤間 弘治(公立黒川病院 医療社会事業参与)



公立黒川病院 理念



「すべては地域の皆さんのために」

公立黒川病院は職員が一丸となって、地域住民の皆さん一人一人の思いにお応えできるよう、安全で安心、良質な医療サービスを提供します。



黒川連携の会の目的とは？



黒川郡内に存在する医療と介護の資源が
手を取り合い、郡内の住民が安心して生活で
きる環境を整備していく事を目的として活動。

(黒川連携の会 会則 第2条)



黒川連携の会の事業とは？



- (1) 連携を深めるための相互の情報交換
- (2) 知識習得のための研修会
- (3) その他会の趣旨に合致すると会長が認める事業

(会則第3条)



連携の会 対象者



主に、黒川郡内の
医療、介護、福祉、行政等の関係者を主な対象。

(会則第3条2項)



黒川郡内の医療福祉関係施設数



項目	数
病院	4(内1つが精神科、1つはリハビリテーション専門病院)
診療所(有床、無床含む)	33(産婦人科等含む)
特別養護老人ホーム	9
介護老人保健施設	4
介護療養型医療施設	1
認知症対応型共同生活介護	8
小規模多機能施設	1
サービス付き高齢者向け住宅	1
ケアハウス	1
養護老人ホーム	1
看護小規模多機能型施設	1

平成27年5月1日現在



黒川郡内の在宅事業所数



項目	数
居宅介護支援事業所	22
訪問看護	4
訪問介護	6
訪問入浴	1
訪問リハビリ	2
通所介護	28
通所リハビリテーション	5
地域包括支援センター	5(委託は2事業所)
短期入所生活介護	9
短期入所療養介護	5

平成27年5月1日現在
介護サービス情報公表より





Kurokawa

連携の会 立ち上げの経緯



黒川連携の会 発足まで



過渡期

平成21年10月

システム構築

平成18年度下期～平成21年
度

初期段階

平成17年度～平成18年度上
期

初期段階

- 病院から患者が退院するのに、一切ケアマネージャーに連絡が来ない。
- ケアマネージャーも病院に来ても、患者には面会するけど、看護師には声もかけて行かない。

お互い、出来ていないことばかりの指摘。じゃ、どうするか？

・・・システムの構築へ・・・

システムの構築



- 平成17年度から、黒川地域リハビリテーション体制整備検討会が宮城県仙台保健福祉事務所を事務局として開催。
- **設置の目的**

高齢者や障害者が住みなれた地域で生涯にわたっていきいきとした生活をおくるためには、地域で総合的かつ一貫性をもったリハビリテーションが提供されるための体の確立を図っていく事が必要である。

構成員

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、栄養士、ケースワーカー、社会福祉士、作業療法士、理学療法士、心理判定員、ホームヘルパー、介護支援専門員、介護福祉士、教師、建築士、施設等職員など

地域リハビリテーション推進体制の課題



Kurokawa

- ①サービスの不備
- ②関連職種ネットワーク不足
- ③ケアプラン作成に関するさまざまな問題
- ④若年者に対する地域リハビリテーションの在り方
- ⑤介護予防と地域リハビリテーションのかかわり
- ⑥サービスを受ける側の理解と啓発

病院の
現状は
置き去
り...

⇒②医療機関退院後も、在宅において通所や訪問によるリハビリテーション等のサービスを必要とする人に対して、適切なサービスを適時に、切れ目なく提供するためには、医療機関から地域の関係機関への情報提供がない、あるいは提供が遅れる場合があり、その結果、リハビリテーションに関する情報が関係者に的確に伝わらず、適切なサービス提供が適時にされない状況が見られる。



退院連絡票



Kurokawa

公立黒川病院の連絡票

連絡票	
受信者	_____ 殿
送信者：公立黒川病院 _____	
患者 (イニシャル)	殿の退院にあたりご連絡いたします。
疾患名：	
年 齢：	
居住地：	
退院予定日：	平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
退院時の情報提供に関する連絡調整について下記の担当にご連絡下さい。	
所属：	
退院調整者氏名：	
電話：	022 (_____) _____

公立黒川病院を退院後、地域に戻る場合に、ケアマネージャー宛てに送る「連絡票」の運用



退院連絡票 運用開始後の課題



nkawa

ケアマネージャー側

- ・イニシャルでの連絡なので、実際に現場でケース名が分からないことがあった。
- ・連絡票をもらって電話をしたが、病棟で連絡票を知らない人がいた。
- ・既に電話でのやり取りをしているので、連絡票は特に必要でない。

地域包括支援センター側

- ・退院前日の夕方に突然ファックスを送られても、何をしろと言うのか？
- ・リハが必要かもと言う理由だけで送られても困る。
- ・電話で十分

双方課題だらけ！！

病院側

- ・連絡票の存在自体を知らなかった。連絡票を送信したら、これは何なのかと問い合わせがきた。
- ・今までの流れで、退院前会議を実施して、その後にファックスすることがあった。
- ・電話連絡だけで調整することが多いのでファックスは必要ない。

病院側

- ・急性期病棟は平均在院日数が短いので、退院決定から退院までが短期間で、連絡が間に合わないことがある。
- ・この連絡票は、手間のかかる割には、効果的ではない。



過渡期



Kurokawa

院外との問題(コミュニケーション不足)

連携ネットワークの構築を目的とした「連携の会」を立ち上げ！！

院内での問題(コミュニケーション不足??)

誰かがやってくれる前に、自ら行動を起こそう！

出来ていないことへの指摘には力が入るが、足りないことを補う発想が欠けている



いよいよ連携の会 スタート



会長

- 角田 浩(公立黒川病院 副管理者) * 当時

看護代表 世話人

- 佐藤 亜紀子(公立黒川病院病棟師長)

事務局

- 赤間 弘治(公立黒川病院 MSW兼介護支援専門員)



いよいよ連携の会 スタート



世話人

- ツクイ富谷ひより台 ケアマネージャー

世話人

- ハッピー富谷 ケアマネージャー

世話人

- 永楽会おもいやりセンター
ケアマネージャー



ケアマネ部会
(平成23年3月24日)
23名参加



まだまだ 硬い表情・・・



少し、表情も緩みつつ・・・



ケアマネ部会

ケアマネージャー

ケアマネージャー同士も顔を合わせて話をすることがなかったので、良い機会になった。

ケアマネージャー

病院は、敷居が高い。こうやって関係が近くなるとお互いにとってメリットがあると思う。

参加者の意見

病院

お互い、なんとなく顔は知っていても、それ以上のことはよく知らないままだったので、このような機会は継続したい。

その他

お互いの役割を理解しようと働きかけても、心ない言葉を発する方もいた。



看護・介護・リハ合同部会
(平成23年7月22日)
22名参加





各病院及び各施設からの施設紹介

2病院

4介護老人保健施設

仙台保健福祉事務所



まだまだ表情は硬い





- 病院間、施設間の情報共有を図るべく、それぞれの機関の紹介を実施。
- 知っていそうで、知らないことが多く発見できた。そんなやり取りが出来た会でした。





虐待シンポジウム
(平成23年12月3日)
38名参加



＜事例を通して考えるネグレクトを受けている方の支援＞それぞれの立場から



Kurokawa





熱心に聞き入るケア
マネージャー、地
域包括ス
タッフなど



演者：公立黒川病院 病院長 横道 弘直
くろかわ訪問看護 所長 石塚 玲子
大和町地域包括 社会福祉士 小椋紀子氏



虐待(ネグレクト)を受けた患者に関係した方々が、
それぞれの立場での関わった報告を行った。

医師、訪問看護、ケアマネージャー、地域包括、居宅
サービス事業所それぞれが情報共有を図り、課題解
決に動く必要を感じた事例報告。

包括からは、「やむを得ない措置」に関する情報提供。





リハ分科会研修会
コミュニケーション支援研修
(平成25年5月17日)
参加39名



保健所の理学療法士からの講義 Kurokawa



保健所の作業療法士による実技指導



Kurokawa



レッツ
チャット
の操作



訪問看護ステーションの作業療法士 による症例報告



Kurokawa



講師



レッツ・チャットを操作してみよう！

いろいろなタイプのスイッチを知ろう！

仙台保健福祉事務所 健康づくり支援班

作業療法士 相澤 克宏氏

理学療法士 栗津 正貴氏

コミュニケーション支援に関する症例紹介

医療法人 松田会 松田病院

主任作業療法士 大貫 操氏



シンポジウム

平成25年9月14日、黒川連携の会主催、公立黒川病院の共催で第1回医療・介護連携シンポジウムを開催。

香川シームレス研究会の中心メンバーである香川県綾河町国保陶病院の大原昌樹先生をお迎えし、香川県での取り組みや国保陶病院での在宅との連携に関する取り組みについて講演を頂いた。



シンポジウム



シンポジウム(それぞれの立場での連携)

- 病院の立場として

公立黒川病院 診療部長 角田 浩氏

- 中間施設の立場として

介護老人保健施設 施設長 中谷 利彦氏

- ケアマネージャーの立場として

大衡村社会福祉協議会 ケアマネージャー
鳥海 さよ子氏

- 訪問看護ステーションの立場として

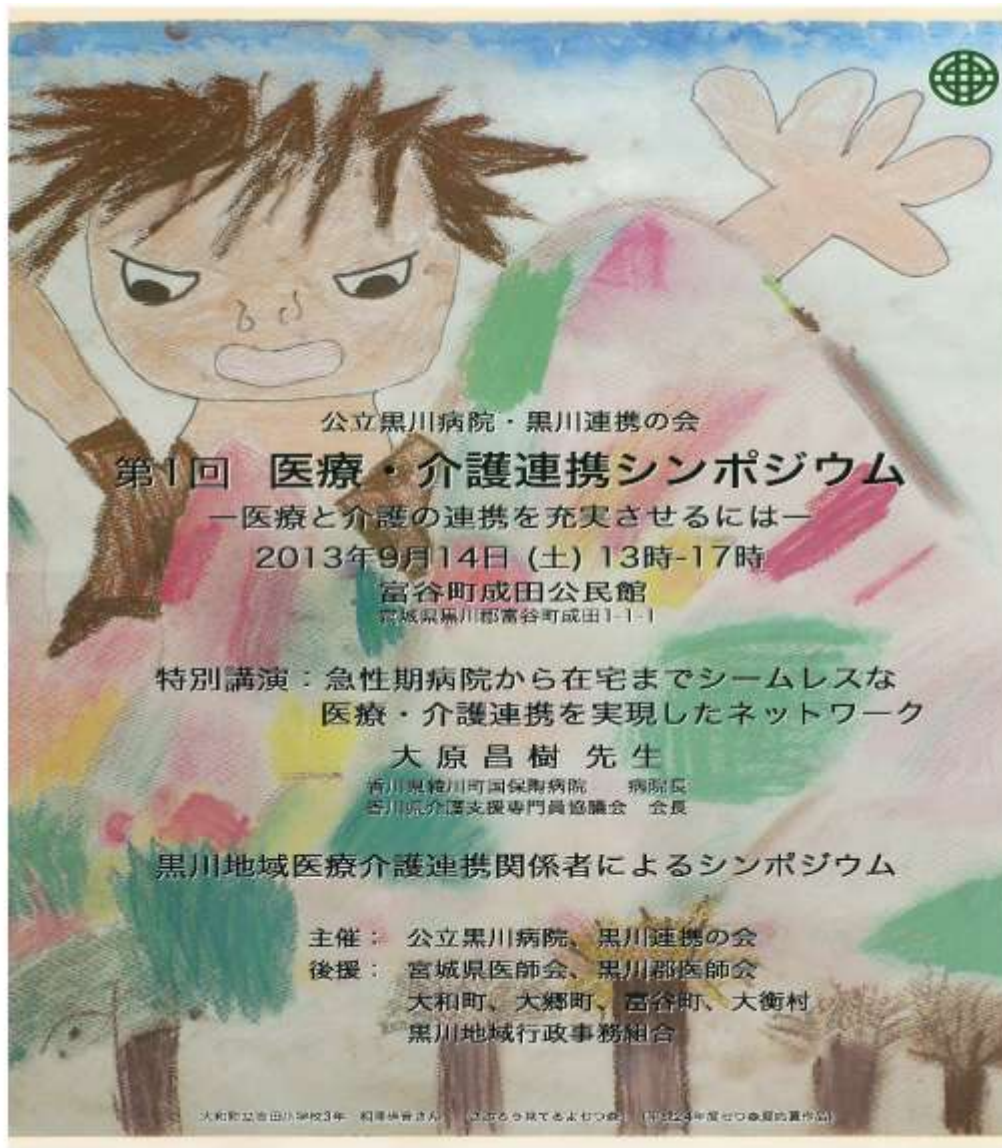
くろかわ訪問看護ステーション 所長 石塚玲子氏

- 地域包括支援センターの立場として

向陽台地域包括支援センター 所長 浅倉 恵子氏



シンポジウム ポスター



公立黒川病院・黒川連携の会

第1回 医療・介護連携シンポジウム

—医療と介護の連携を充実させるには—

2013年9月14日 (土) 13時-17時

富谷町成田公民館
宮城県黒川郡富谷町成田1-1-1

特別講演：急性期病院から在宅までシームレスな
医療・介護連携を実現したネットワーク

大原昌樹 先生
香川県綾川町国保病院 病院長
香川県介護支援専門員協議会 会長

黒川地域医療介護連携関係者によるシンポジウム

主催： 公立黒川病院、黒川連携の会
後援： 宮城県医師会、黒川郡医師会
大和町、大郷町、富谷町、大衡村
黒川地域行政事務組合

大和町立成田小学校3年 和洋絵画展より (ごちそう様であるよせつ会) (©2013年 せつ会 複製許諾)





260名規模の参加者



スタッフの皆さんお疲れ様！！



シンポジウム

- 参加者260名規模の大規模なシンポジウム。

講師から、大規模なシンポジウムも良いが、こじんまりとした人数で、話し合いが出来る関係が必要だとアドバイスを頂いた。



シンポジウムを終えて、新たなスタート



- 意見交換形式による顔の見える関係を作る**場所**を提供することに重きを置くこととした。
- ワールド・カフェ方式を採用





黒川地区栄養士研究会
病院・福祉部会との意見交換会
(平成25年12月20日)
53名参加



4人1組と言う数が功を奏す



模造紙にもしっかり書いてます！



みんな、ほとんど初対面



意外に好評。
理由は、施設
の介護職の方
が病院の看護
師と同じテー
ブルで意見交
換したり、逆も
あったりと。

意見交換会

- 意見交換のテーマ

「食を通して見えてくる地域の課題は何か？」



意見交換会 参加者の意見



職種	意見
介護支援専門員	顔が見える関係が出来たら、今後も何かと相談しやすいと思うので今後も積極的に参加したい。
看護師	職種が違くと色々な考えがあるのだと大変参考になりました。
介護支援専門員	グループを変えての話は色々な方面から見た意見を聞けてとても勉強になりました。自分は居宅で仕事をしているので、今後は居宅の方々と色々話をしてみたいと思いました。
介護福祉士	色々な職種の方、職場の方と話しが出来て大変良かったです。是非またこの様な場を作って下さい。
管理栄養士	意見交換しあうことで、お互いの問題を把握し、よりよい環境作りにつながると思います。勉強になりました。
相談員	なかなか地域の方々と顔を合わせる機会も少ないので、そんな意味でも良い会だなと思います。顔の見える地域交流は必要。
管理栄養士	タイトルが大きすぎてまとまらなかった。
介護支援専門員	カフェスタイルやメンバー入れ替え制はメリハリと話しやすい雰囲気となり想像以上に充実した。グループワークを嫌がり参加しなかった他のスタッフに誤解だと今日の様子を伝えます。



黒川地区栄養士研究会（病院福祉部会）

* 先の栄養士との意見交換会を機に、栄養士だけで集まって郡内の栄養マップを作製

* 黒川連携の会ブログにて公開中



栄養士研究会



栄養士研究会





栄養士研究会（病院福祉部会）
との意見交換会 第2弾
（平成26年2月21日）
61名参加



症例発表



「摂食嚥下障害を抱えて在宅生活を送っている
症例に対して多職種での取り組み」

発表者

- ・公立黒川病院 言語聴覚士 猪又 伸彦氏
// 管理栄養士 小岩 陽子氏
- ・希望の杜居宅介護支援事業所 金子氏

意見交換(ワールド・カフェ方式)

「摂食嚥下や食事制限をされている利用者の家
族支援で苦労している点、工夫している点」



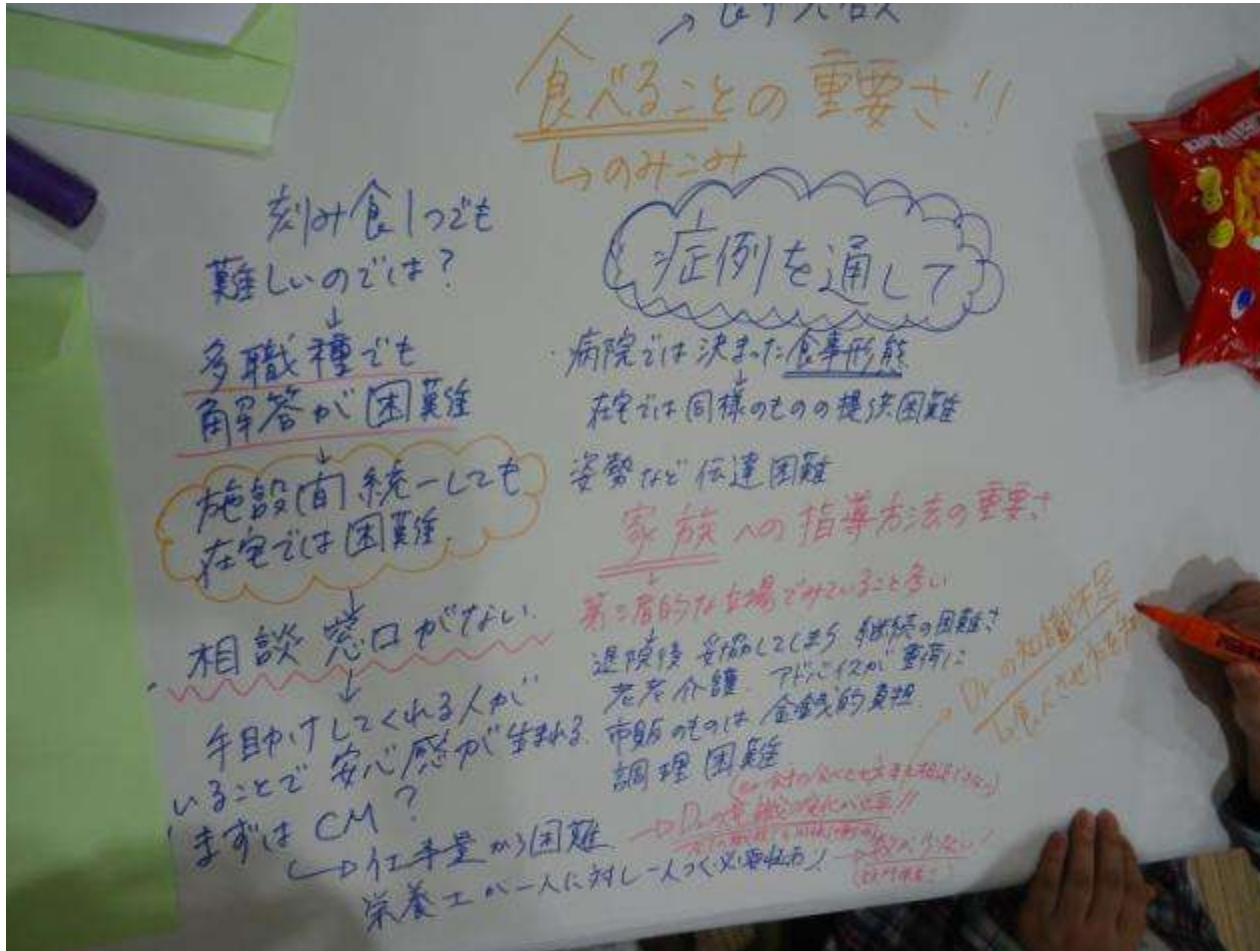
和気あいあい！



こちらも和気あいあい！！



どんどん書いてます



真剣に耳を傾けています



参加者からの意見

職種	意見
介護福祉士	他の職種の方々とお話をする(意見交換)機会があり、とても良かったです。
医師	ディスカッションの時間がもう少しあればいいですね。
相談員	いつでも相談できる窓口のようなものがあれば家族も話しやすいのではないかと思いますし、不安も少しは解消できるのでは。
管理栄養士	テーブルをまわると、それぞれのテーブルで話し合っている議題が違うので、話し合うテーマを決めて欲しいです。
看護師	今回は具体的な症例があって話しやすかったです。
介護支援専門員	食事が家族にとって占める部分は大きいと感じています。食事形態が変わった時、施設に入所を申し込むことが多いです。
管理栄養士	地域でどのような課題があるのかを知る機会になりました。栄養士と言う立場で、自分たちが出来ることを模索したいと思います。

栄養士研究会が後日作成したマップ



rokawa

黒川連携の会 嚥下食マップ

「学会分類2013(食事)」(コード)

施設地域		黒川郡	黒川郡	黒川郡	黒川郡	黒川郡	黒川郡	黒川郡	黒川郡	黒川郡
施設分類		(例)病院・施設	病院	クリニック	病院	クリニック	特養	特養	老健	特養
施設名		〇〇〇〇	信守リハビリテーション病院	吉岡QQ	黒川病院	大和クリニック	ウイング	七峰荘	希望の社	まほろばの里たいわ
《副食》										
0j 嚥下訓練食品(均質なゼリー、タンパク質少)		提供	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したゼリー、離水が少なく、スライス状にするのが可能なもの		名称	開始食	訓練食(ゼラチンゼリー)	訓練食	名称特になしゼリー類	開始食	名称特になしゼリー類		名称特になし
0k 嚥下訓練食品(中間or濃いとろみをつけた飲料)		提供	〇	〇	〇	〇	〇(ユニット対応)	〇		〇(ユニット対応)
均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したとろみ液(トロミ剤使用)		名称	開始食	訓練食(お菓用トロミ液)	訓練食	ゼリー食	開始食	水分トロミ	訓練食(トロミ付きお茶)	水分トロミ
1j 嚥下調整食(均質なゼリー、プリン、ムース)		提供	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したゼリー・プリン・ムース状のもの		名称	嚥下食1	訓練食(プロテインゼリー)	訓練食1	嚥下食	ゼリー食	名称特になしゼリーやプリン類	ソフト食	ソフト食
2-1 ビューレ・ペースト・ミキサー食(均質)		提供	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
ビューレ・ペースト・ミキサー食など、均質でぬめらかで、べたつかずまとまりやすいもの、スプーンですくって食べることが可能なもの		名称	ミキサー食とろみ付	ミキサー(とろみ付)	訓練食2	ミキサー(とろみ付)	ミキサー(とろみ付)	ビューレ食(ムース食を凍したもの)	流動食	ペースト食(トロミ付)
2-2 ビューレ・ペースト・ミキサー食(不均質含)		提供	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
ビューレ・ペースト・ミキサー食などで、べたつかず、まとまりやすいもので不均質なものも含む、スプーンですくって食べることが可能なもの		名称	ミキサー食とろみ付	ミキサー(とろみ付)	訓練食3	ミキサー(とろみ付)	ミキサー(とろみ付)	ムース食		ペースト食(トロミ付)
3 形はあるがやわらかい 舌で潰せる程度		提供	〇							
形はあるが、押しつぶしが容易。食塊形成や碎渣が容易。嚥下でばらけず嚥下しやすいように配慮されたもの、多量の離水がない		名称	押し潰し食							
4-A 軟菜食極きざみ		提供	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
普通食よりややわらかい、かたさ・ばらけやすさ・盛り付きやすさなどのないもの、箸やスプーンで扱れるやわらかさ		名称	極刻み・荒刻み	とろみ前み(とろみあん遣)	やわらか食(極きざみ・粗きざみ)	きざみ・極きざみ(トロミ選択)	きざみ・粗きざみ(トロミ付)			極きざみ食(トロミ付)
4-B 軟菜食一口大きざみ		提供	〇	〇	〇	〇	〇	〇(ユニット対応)	〇	〇
きざみの大きさ 10mm以上		名称	きざみ食一口大(トロミ選択)	軟菜一口大(とろみあん遣)	嚥下サポート食	軟きざみ一口大(トロミ選択)	荒きざみ	ソフト食一口大	刻み食	キザミ食
4-C 軟菜食		提供	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		名称		軟菜		全粥食	ソフト食	ソフト食		軟菜
5 普通食		提供	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
		名称	普通食	常食		常食	常食	常食	普通食	軟菜
《主食》										
重湯ゼリー		提供								
名称										
ゼリー粥		提供	〇			〇	〇	〇粒有		〇
名称					嚥下食	ゼリー粥	ゼリー粥			粥ゼリー
ミキサー粥		提供	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
名称			ミキサー粥(とろみ付)	ミキサー粥(とろみ選択)	ミキサー粥(とろみ選択)	ミキサー粥(とろみ付)	ペースト粥(とろみ選択)	流動かゆ(とろみ選択)	粥ゼリー	粥ミキサー



新たなテーマでの意見交換



合同意見交換会（感染症）
（平成26年5月23日）
52名参加



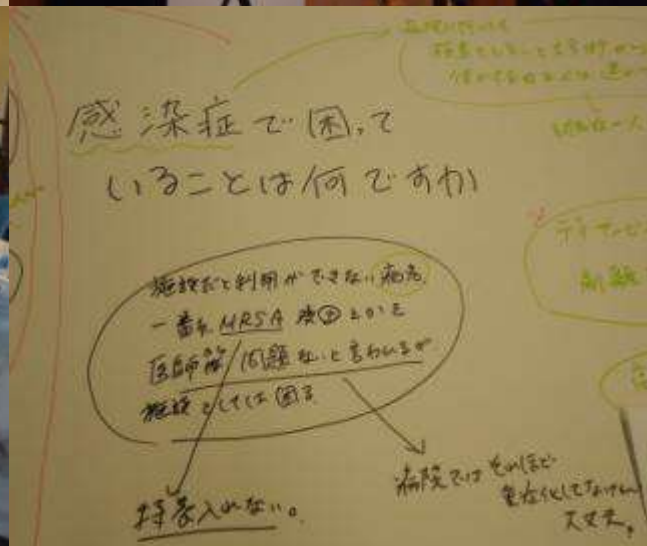


意見交換テーマ

「感染症で困っていることは何ですか？」



当日の風景





参加者からの意見

職種	意見
看護師	他職種の方との交流が出来て良かったです。今後もこの様な会があれば良いと思います。但し、同じメンバーよりは様々な方が参加した方が良いですね。楽しい時間になりました。
看護師	現場の違いもありますが、共通した対策が出来ると良いですね。
看護師	初参加でしたが、他職種の人達と意見を交換できてとても良い時間になりました。
介護支援専門員	他職種と話すと、それぞれの立場での事が分かり、よかった。統一した書式があれば良いと。
介護支援専門員	マニュアルの統一。施設利用時の検査項目についても地域で統一してもらえると、利用者の金銭的負担も軽減すると思いました。
作業療法士	困っていることは皆同じなんだと思いました。





Kurokawa

合同意見交換会(感染症)第2弾 (平成26年7月25日) 66名参加



講義

「感染症、あれやこれや」

公立黒川病院 内科 位田 剣氏



Kurokawa

保健所の立場から

塩釜保健所 黒川支所

保健師 大崎 奈津子氏

意見交換



当日の風景

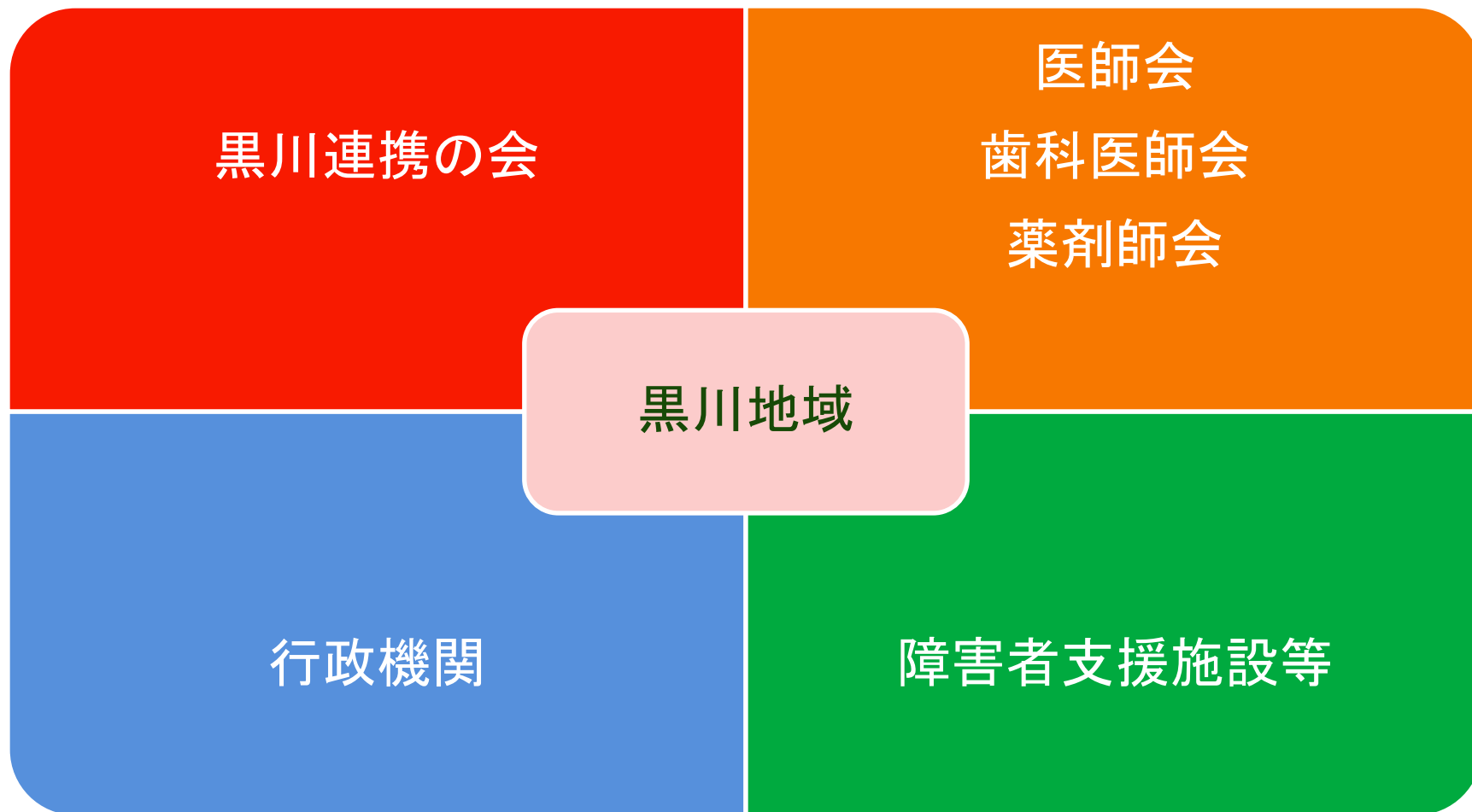


参加者からの意見

職種	意見
看護師	時間も丁度良く日頃の悩みを相談出来ました。
看護師	意見交換の時、先生(医師)も入ってくると良いですね。
相談員	施設医師と情報共有しながら、的確な対応をしていきたいと思えます。
その他	色んな人の話を聞いたことがまず良かったです。講義では次々進むので都度分からないことがないか聞いてもらえたらな、と思いました。クロストリジウムデフィシルについてはもっと聞きたかったです。イメージが湧かなかったので。



地域包括ケアシステムの構築を目指して 本気で取り組む！！



位置づけの変化

黒川連携の会会則

第1章 総則

第1条 (名称)

会の名称は、「黒川連携の会」とする。

第2条 (目的)

黒川連携の会は、黒川郡内に存在する医療と介護の資源が手を取り合い、郡内の住民が安心して生活できる環境を整備していくことを目的とする。

第3条 (事業) 本会は、第2条の目的を達成するのに次の事業を行う。

- (1) 連携を深めるための相互の情報交換
- (2) 知識習得のための研修会
- (3) その他会の趣旨に合致すると会長が認める事業

2 事業は、公立黒川病院および会の目的に賛同し協力できる黒川郡内の医療・介護・福祉関係者を主な対象とする。

第2章 役員等

第4条 (役員の種類)

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 会長 | 1名 |
| 2. 看護代表世話人 | 1名 |
| 3. リハビリ代表世話人 | 1名 |
| 4. 監事 | 1名 |
| 5. 会計 | 1名 |
| 6. 事務局 | 若干名 |
| 7. 世話人 | 若干名 |

第5条 (役員の仕事) 会長は、連携の会を代表し、会務を統括する。

- 2 看護代表世話人は、会長を補佐するとともに、看護職の連携の取りまとめを行う。
- 3 リハビリ代表世話人は、会長を補佐するとともに、リハビリ職の連携の取りまとめを行う。
- 4 監事は、会の会計事務を監査する。会計事務について不正の事実を発見したときは、役員会の招集を請求する。
- 5 会計は、会の会計事務を担当する。
- 6 事務局は、公立黒川病院に置く。ただし、会長が必要と認める場合には事務局を適当な所に置くことができる。事務局は、会長を補佐し会の事務一般を担当する。

7 世話人は、会の運営に関して協力し準備等を行う。

第6条 (任期及び選出方法) 役員は公立黒川病院管理者が選任する。

- 2 役員の仕事は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 役員に欠員が生じた場合は、速やかに公立黒川病院管理者が選任する。
- 4 補欠により選出された役員は、前任者の残任期間とする。

第4章 役員会

第7条 (役員会) 会の中に役員会を置く。

- 2 役員会は、第4条で定める役員(監事を除く)をもって構成する。
- 3 会長が必要と認めた場合には役員以外を参加させることができる。
- 4 役員会は、必要に応じ会長が招集する。
- 5 役員会は、会長が議長となり、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 会の運営内容に関する事項
- (2) 新たな協議事項が生じた場合の事項

第5章 会計

第8条 (経費) 会の経費は、公立黒川病院からの補助金をもってこれにあてる。

第9条 (会計年度、会計監査) 会計年度は4月から翌年3月までとする。

- 2 年1回会計監査を行い、翌年度の4月末日までに公立黒川病院に報告する。

第6章 会則の変更

第10条 (会則の変更) 会則の変更は、役員の仕事の3分の2の賛成を持って変更することが出来る。

平成22年3月24日制定施行

平成23年1月28日変更

平成26年1月17日変更

平成27年4月1日変更

自主的組織から、公立黒川病院の委員会の一部に変更

連携の会の今後（平成27年度）



- 1) 医科・歯科・福祉・介護・行政との連携
 - 2) 医科・歯科・福祉・介護・行政、開業医との
連携
- 地域の関係者と意見交換を通して、問題点の整理、ソーシャルアクション機能を持たせていきたい。（単なる意見交換では終わらないため）

